

2023年2月14日
株式会社 電通グループ
代表取締役社長 CEO 五十嵐 博
(東証プライム市場 証券コード：4324)

2022年12月期通期連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

株式会社電通グループ（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：五十嵐 博、資本金：746億981万円、以下「当社」）は、本日、2022年8月12日に発表した2022年度通期（2022年1月1日～12月31日）の連結業績予想と本日発表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。

2022年度の通期連結業績予想と実績値との差異について（IFRS基準、2022年1月1日～12月31日）

(△は減少)

	2022年度 実績 (A)	2022年度 8月発表 業績予想 (B)	増減額 (A - B)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績 (2021年度)
収益 (百万円)	1,243,833	1,240,800	+3,033	+0.2	1,085,592
売上総利益 (百万円)	1,117,002	1,098,300	+18,702	+1.7	976,577
調整後営業利益*1 (百万円)	203,189	194,400	+8,789	+4.5	179,028
オペレーティング・ マージン*2	18.2%	17.7%	+50 bps		18.3%
調整後当期利益*3 (親会社 の所有者に帰属) (百万円)	130,037	118,000	+12,037	+10.2	109,203
基本的1株当たり 調整後当期利益 (円)	485.26	439.70			391.71
営業利益 (百万円)	117,617	155,700	△38,083	△24.5	241,841
当期利益 (親会社の所有者に 帰属) (損失) (百万円)	59,847	94,500	△34,653	△36.7	108,389
基本的1株当たり 当期利益 (円)	223.33	352.14			388.79

為替

1USD	131.4 円	124.9 円	-	-	109.8 円
1GBP	161.9 円	160.1 円	-	-	151.1 円

注：※1～※3は、P2を参照。

為替は、2022年度実績は2022年1-12月平均、2022年度業績予想（8月発表）は2022年1-7月平均。

ロシア事業に関する現地合弁会社への当社持分譲渡に伴う損失や、APAC地域（当社の定義では、日本を除くアジア太平洋地域）におけるのれん減損損失（約92億円）を計上したことなどにより、2022年8月12日発表の通期連結業績予想と比較し、制度会計上の親会社の所有者に帰属する当期利益がマイナス36.7%となりました。なお、APAC地域ののれん減損損失については、APAC地域を1つの資金生成単位グループとして減損テストを行う中で、金利上昇による割引率の上昇で現在価値を減少させたことにより認識しました。

- ※1. 「調整後営業利益」は、営業利益から、『買収行為に関連する損益』および『一時的要因』を排除した、恒常的な事業の業績を測る利益指標。『買収行為に関連する損益』：買収に伴う無形資産の償却費、M&Aに伴う費用、完全子会社化に伴い発行した株式報酬費用。『一時的要因』：構造改革費用、減損、固定資産の売却損益など。
- ※2. 「オペレーティング・マージン」は、「調整後営業利益÷売上総利益」で計算。
- ※3. 「調整後当期利益（親会社の所有者に帰属）」は、当期利益（親会社所有者帰属分）から、営業利益に係る調整項目、関連会社株式売却損益、アーンアウト債務・買収関連プットオプション再評価損益、これらに係る税金相当・非支配持分損益相当などを排除した、親会社所有者に帰属する恒常的な損益を測る指標。

以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通グループ グループコーポレートコミュニケーションオフィス 小嶋、杉浦、松永

Email : group-cc@dentsu-group.com

株式会社電通グループでは、新型コロナウイルス対策の一環として、現在リモートワークを実施しておりますので、同期間のお問い合わせは、Eメールにてお願いいたします。